

1 教育目標

生徒の学校生活への積極的な参加を通して、社会性を培い、心身ともに健康で自立した人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 夜間定時制高等学校の持つ小規模校の特性を活かし、生徒一人ひとりにきめ細かな指導を心がけている。
- ② 小・中学校時に多様な経験をした生徒が円滑な対人関係を構築できるよう、学校への適応を高め、社会性の育成が求められている。
- ③ 学習面や生活面で課題を持った生徒が自己肯定感を高められるよう、教育活動全般において充実と工夫が求められている。
- ④ これまでの危機管理体制を見直しながら、さらに安心・安全な学校づくりを推進させる必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 【生活習慣の確立】 集団生活に必要なルール・マナーを育成する。
- ② 【基礎学力の定着】 社会人として自立するために必要な基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ③ 【豊かな心】 文化活動やスポーツを通じて、健全な心身を育成し、学校生活の充実を図る。
- ④ 【社会性の涵養】 学校生活や就業等を通して適切な人間関係を築き、社会性を育む。
- ⑤ 【進路への自覚】 自己の能力・適性の理解を図り、進路に対する自覚を育む。
- ⑥ 【地域理解】 地域への理解を深め、ふるさとへの誇りを培う。
- ⑦ 【防災意識の向上】 生徒自らが地域の課題を発見できるように、防災・減災への意識を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 【学校運営】 学校経営計画に基づき、全教職員が協働の意識を持ち、学校の課題を共有し、改善に努める。
- ② 【生徒理解】 生徒一人ひとりの資質や家庭環境について把握し、生徒理解に努める。
- ③ 【支援教育】 支援に必要な生徒に対する体制を整備し、個に応じた効果的な支援を行う。
- ④ 【授業改善】 ICTを活用し、わかる授業を実践することで生徒の授業への参加意欲を高め、基礎学力の定着を図る。
- ⑤ 【研修】 定時制教育に情熱を持ち、先進的な実践事例に学び、生徒理解と指導力の向上に努める。
- ⑥ 【地域連携】 授業公開、学校行事、総合的な探究の時間や聴講制度などを通して地域との連携を図る。
- ⑦ 【危機管理】 危機管理意識を高め、生徒の安心・安全に配慮した学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 1人1台端末のより効果的な活用に取り組み、生徒の能動的、発展的な学習を推進する。
- ② 総合的な探究の時間を中心とした地域学習の実践により、生徒の自己肯定感を高め、社会人として自ら課題を発見し、解決していく人間力の育成を図る。
- ③ 生徒の能力や特性に応じたきめ細やかな学習や、キャリア教育を通して、多様な生徒の進路実現を目指す。
- ④ 校務分掌の適切な割り振りや業務の平準化を進め、教材研究や生徒理解の充実を図る。
- ⑤ 危機管理マニュアルの見直しを図り、大規模地震災害に備えた学校施設や設備等の点検・整備を行う。